

平成25年3月19日

大阪商工会議所
公益社団法人 関西経済連合会

「第49回経営・経済動向調査」結果について

大阪商工会議所と関西経済連合会は、会員企業の景気判断や企業経営の実態について把握するため、四半期ごとに標記調査を共同で実施している。今回は2月下旬から3月上旬に、1,706社を対象に行い、468社から回答を得た（有効回答率27.4%）。

それによると、足もとの1～3月期の国内景気は、8四半期ぶりに実績値がプラスに転じ、大幅改善を示した。一方、自社業況判断は21四半期連続のマイナス局面となるものの、先行きに明るさが見える。自社業況については、大企業が今回調査でプラスに転じたのに対し、中小企業はマイナスが続くなど、回復感の差が目立っている。

【調査結果の特徴】

1 国内景気について ～調査開始以来、最大の上げ幅

1～3月期の国内景気について、前期と比べ「上昇」と見る回答は34.9%、「下降」と見る回答は12.9%。この結果、BSIは22.0と大幅に改善し、8四半期ぶりにプラス転換した。前回調査（BSI 40.5）から62.5ポイントの改善幅は、本調査開始（平成13年1～3月期）以来最大。また、22.0というBSI値は、平成18年10～12月期以来の高水準。

4～6月期は37.7とさらに上昇を見込んでおり、先行き期待が顕著。

2 自社業況について ～21四半期連続のマイナスとなるも、先行きに明るさ

1～3月期の自社業況の総合判断については、前期と比べ「上昇」と見る回答が22.2%、「下降」と見る回答は24.0%。この結果、BSIは1.7で、依然マイナス局面が続く。

4～6月期は7.9、7～9月期は24.5と大幅改善を示し、企業マインドは先行き好転。

企業規模別では、大企業は前期（BSI 7.6）から足もと9.8とプラス転換。先行き2ケタの上昇を示す。一方、中小企業は前期（BSI 9.0）から足もと11.6と落ち込み、回復感の差が著しい。先行きは、4～6月期にプラス転換し、その後も上昇を見込む。

3 新卒採用について ～一括採用継続の一方、通年採用や中途採用も

平成25年4月入社の新卒採用実績については、「計画通り採用予定数を確保できた」（51.3%）が最多。

平成26年4月入社の新卒採用計画については、「25年4月入社数と同等の見込み」（33.1%）が最多。

今後の新卒採用に関する方針については、「一括採用を主な採用手段とする」（53.4%）が最多。「新卒採用を減らし必要に応じて中途採用を増やす」（16.5%）、「通年採用を実施する」（13.0%）が続く。

以上

【お問合せ先】大阪商工会議所 経済産業部（近藤・上野）（06）6944-6304

第49回経営・経済動向調査

大阪商工会議所 公益社団法人 関西経済連合会

<目次>

1. 国内景気	2
2. 自社業況 総合判断	3
3. 自社業況 個別判断	4
4. 新卒採用について	8
参考(BSI値の推移)	11
参考(国内景気判断と自社業況判断の推移)	12

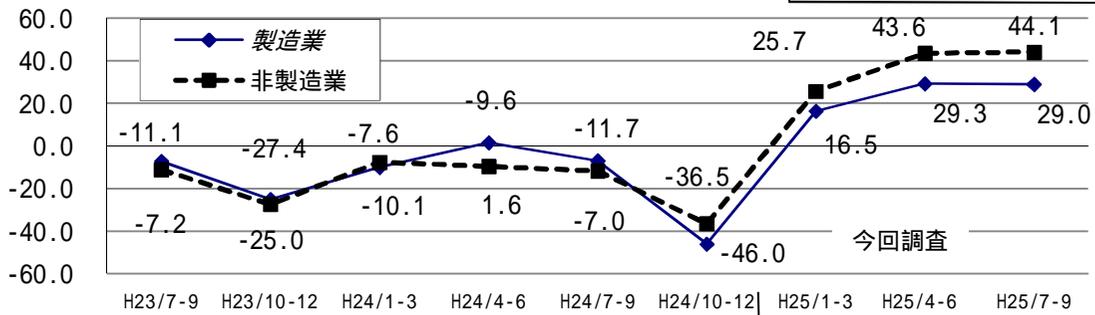
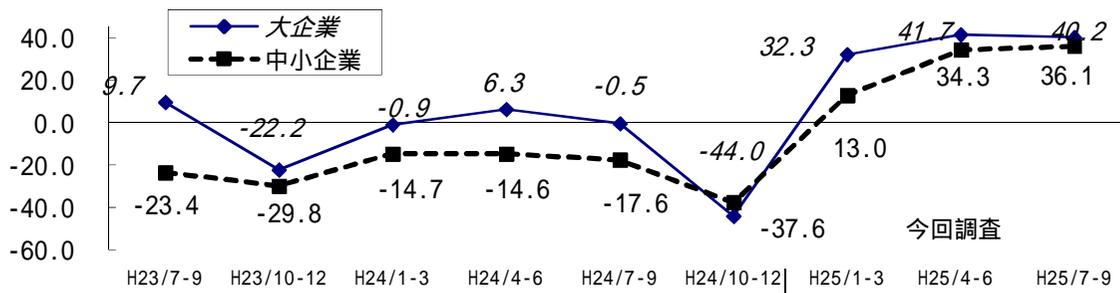
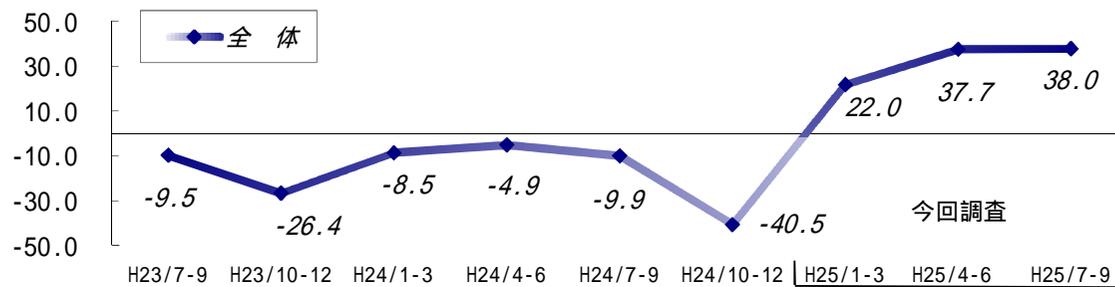
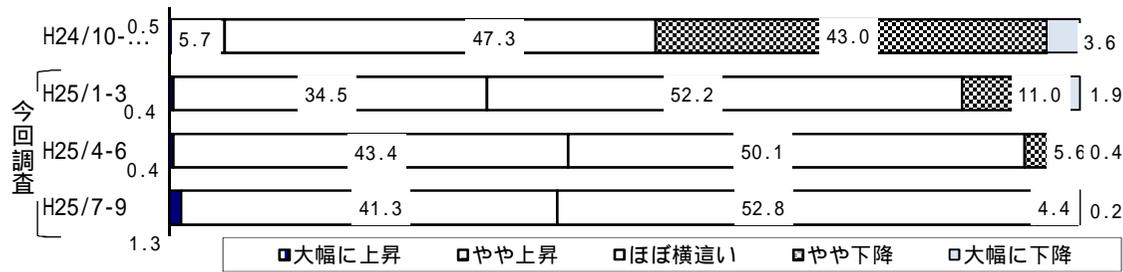
<概要>

- 調査対象：大阪商工会議所・関西経済連合会(甲種会員)の会員企業 1,706社
- 調査時期：平成25年2月19日～3月4日
- 調査方法：調査票の発送・回収ともFAXによる
- 回答状況：468社（有効回答率27.4%）（大企業：218社、中小企業：250社）
企業区分は、中小企業基本法に準拠し、次を中小企業とする。
（製造業他：資本金3億円以下、卸売業：資本金1億円以下、小売業・サービス業：資本金5千万円以下）
- 規模・業種別回答状況：

	製造業			非製造業			
	大	中	計	大	中	計	
食料品	2	6	8	卸売業	26	52	78
繊維工業・製品	6	4	10	小売業	3	6	9
パルプ・紙製品	1	4	5	出版・印刷	1	12	13
化学工業	21	10	31	建設業	28	31	59
鉄鋼	4	7	11	不動産業	10	5	15
非鉄金属・金属製品	11	17	28	運輸・通信業	9	15	24
一般機械器具	9	7	16	金融・保険業	11	0	11
電気機械器具	16	8	24	電気・ガス・熱供給・水道業	2	0	2
輸送用機械器具	3	3	6	サービス業	36	32	68
精密機械器具	1	1	2				
その他製造業	18	30	48				
計	92	97	189	計	126	153	279

1. 国内景気

～ 調査開始以来、最大の上げ幅 ～



< 足もと >

平成25年1～3月期における国内景気を、前期（平成24年10～12月期）と比べ「上昇」と見る回答は34.9%、「下降」と見る回答は12.9%。この結果、BSI（「上昇」回答割合 - 「下降」回答割合、以下同じ）は22.0と大幅に改善し、8四半期ぶりに実績値がプラス転換した。

前期（40.5）から62.5ポイントの改善幅となったが、これは本調査開始（平成13年1～3月期）以来最大。また、22.0というBSI値は、平成18年10～12月期（30.2）以来25期ぶりの高水準。

< 先行き >

4～6月期は37.7、7～9月期は38.0と、さらに上昇を見込んでおり、企業マインドの先行き期待が顕著。

< 規模別 >

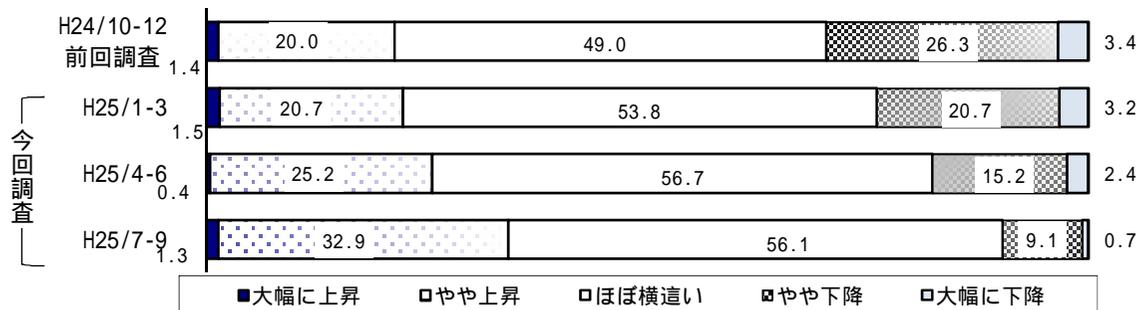
大企業・中小企業ともにプラスに転じるとともに、先行きに対する見通しも明るい。

< 業種別 >

製造業・非製造業ともにプラス転換。

2. 自社業況 総合判断

～ 21四半期連続のマイナスとなるも、先行きに明るさ ～

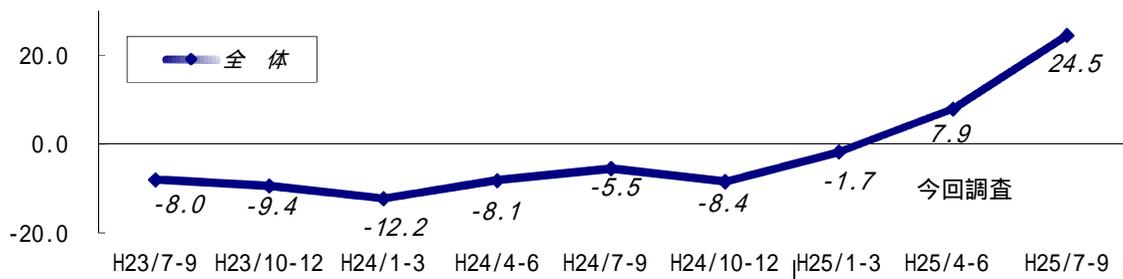


< 足もと >

平成25年1～3月期における自社業況の総合判断について、前期と比べ「上昇」と見る回答は22.2%、「下降」と見る回答は24.0%。この結果、BSIは1.7で、前期（平成24年10～12月期）の8.4から改善するも、依然マイナス局面が続く（21四半期連続のマイナス）。

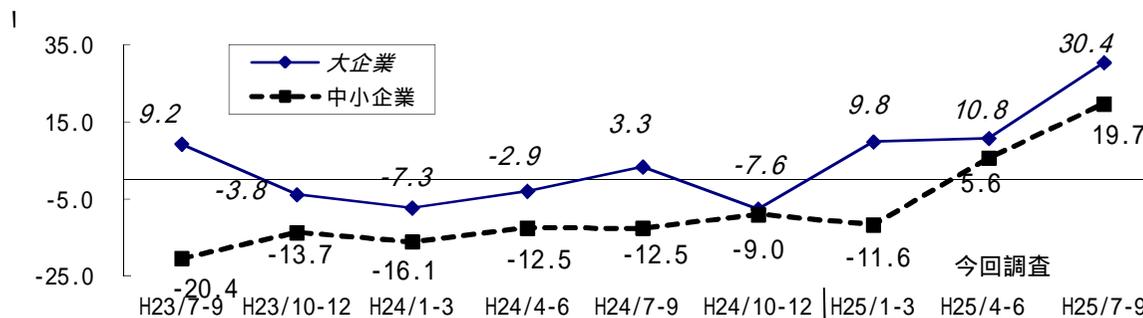
< 先行き >

4～6月期のBSIは7.9、7～9月期は24.5と大幅改善を示しており、企業マイノリティの先行き好転が見られる。



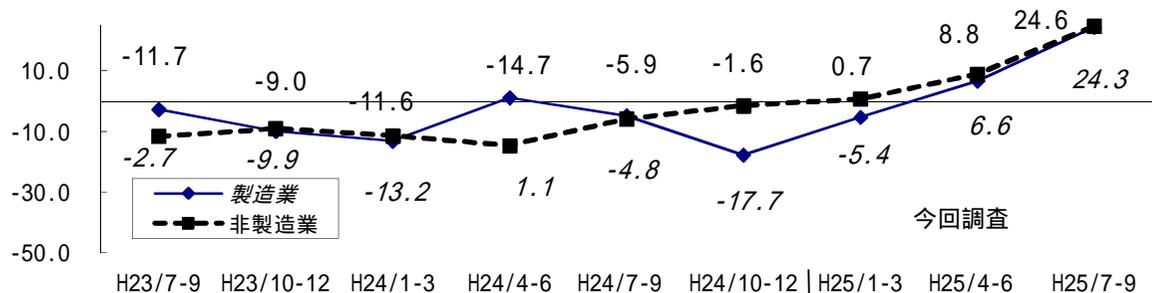
< 規模別 >

企業規模別では、大企業は前期7.6から足もと9.8とプラスに転じ、先行きも4～6月期10.8、7～9月期30.4と上昇。一方、中小企業は前期9.0から今期11.6と落ち込み、回復感の差が著しい。先行きは4～6月期5.6とプラス転換、7～9月期19.7と上昇を見込む。



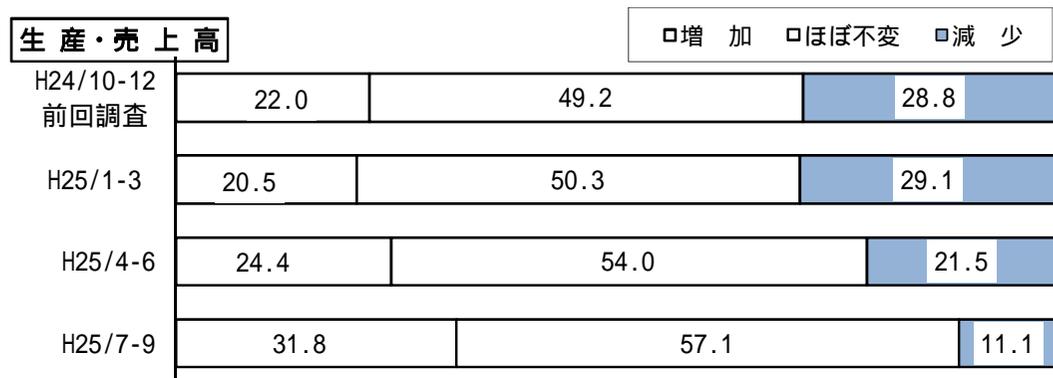
< 業種別 >

製造業は5.4、非製造業は0.7。先行きはともに上昇し、見通しは明るい。



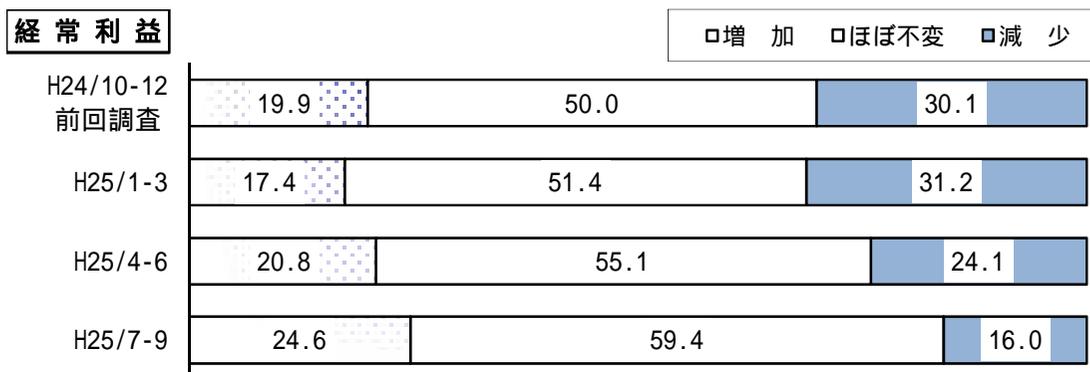
3. 自社業況 個別判断

～ 売上・経常利益ともマイナス局面 ～



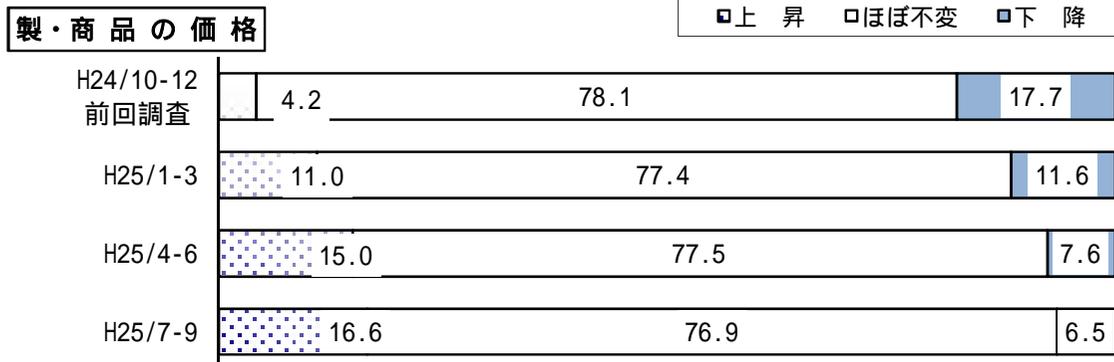
< 生産・売上高 >

足もとのBSIは 8.6と依然マイナスで推移。4～6月期はプラスに転じる見込み。



< 経常利益 >

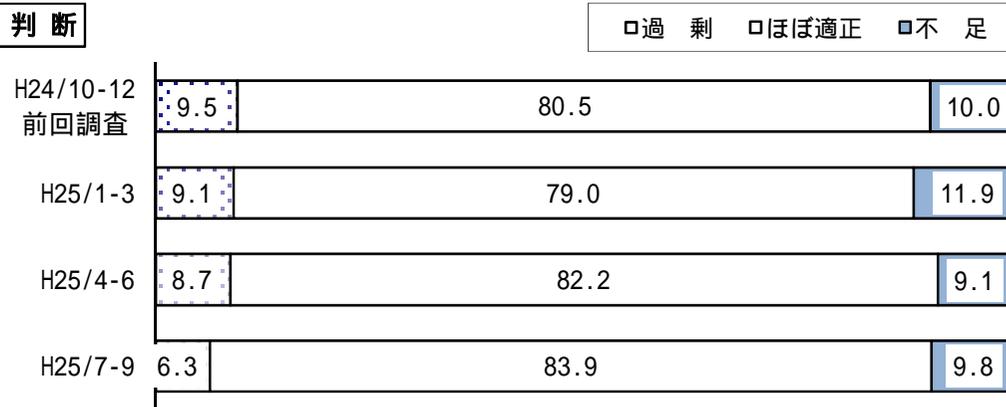
足もとのBSIは 13.9と2ケタのマイナスが続く。改善傾向は見られるものの、先行き4～6月期も 3.3と水面下。



< 製・商品の価格 >

足もとのBSIは 0.7。先行きについては、4～6月期7.4、7～9月期10.1と上昇へ転じる見通し。

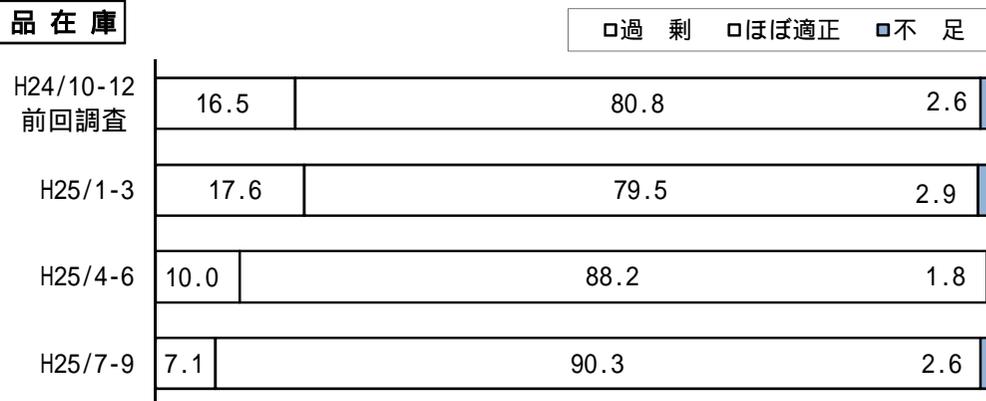
雇用判断



< 雇用判断 >

足もとのBSIは2.8と、前回調査の0.5に引き続き「過剰」感が薄れる。先行きは「ほぼ適正」とする回答が8割を超える。

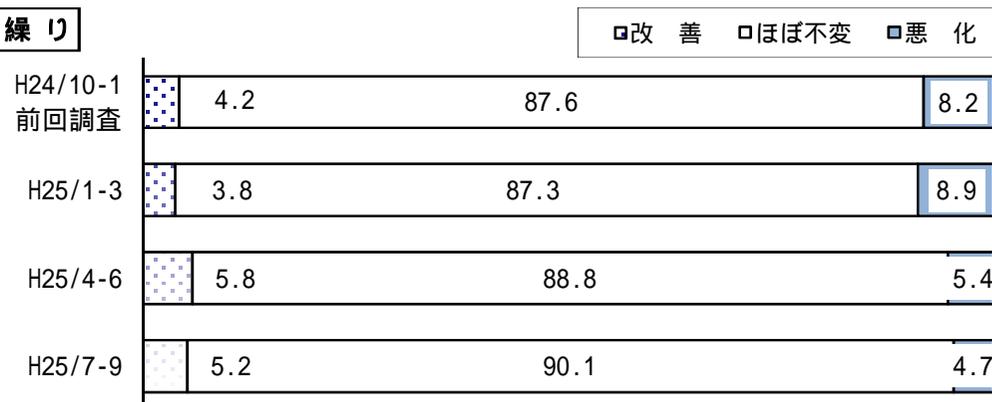
製・商品在庫



< 製・商品在庫 >

足もとのBSIは14.7となり、「過剰」感が目立つ。先行きは改善の見込み。

資金繰り

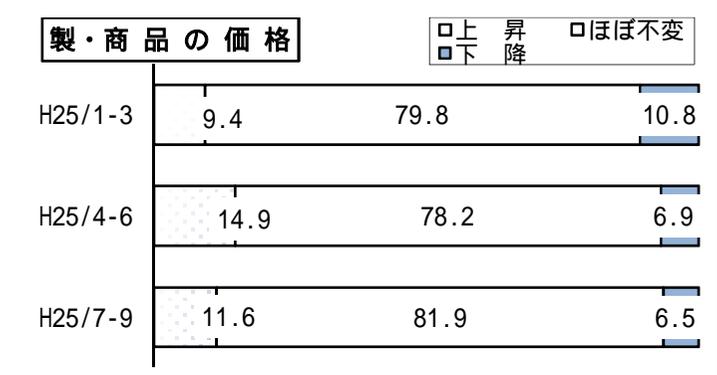
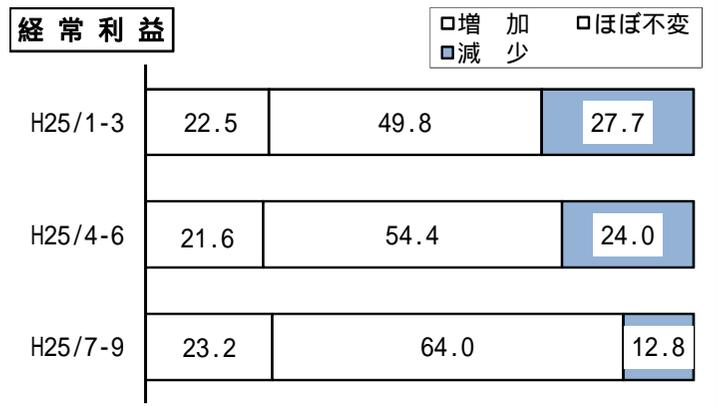
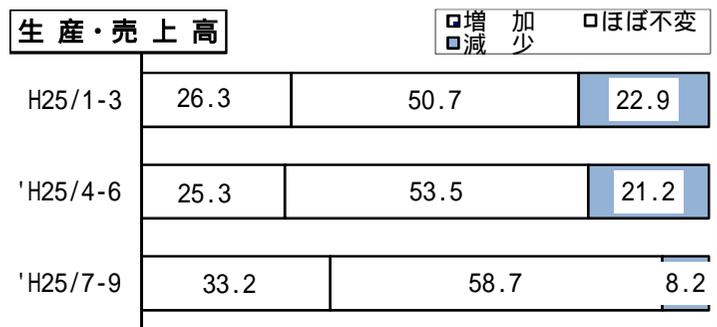


< 資金繰り >

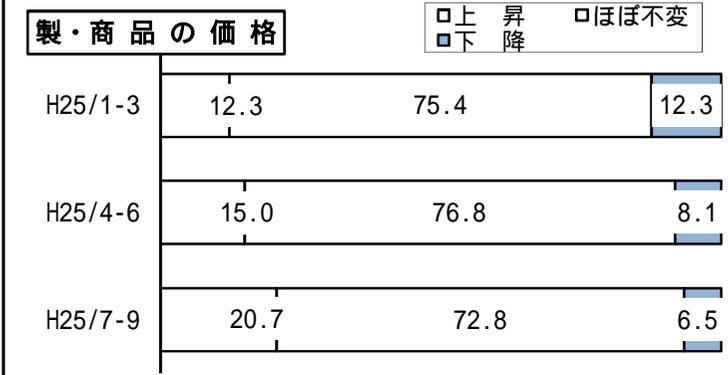
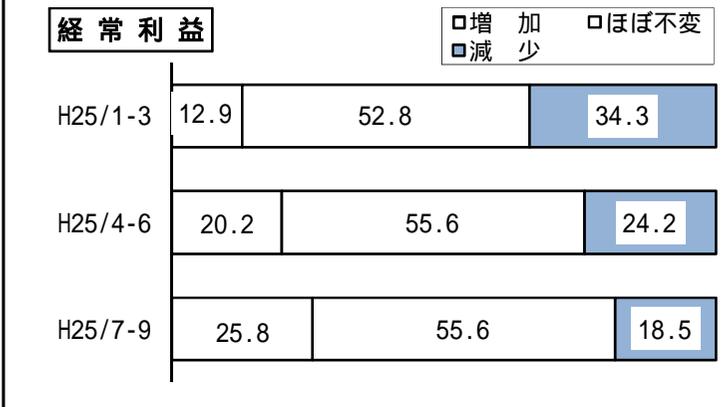
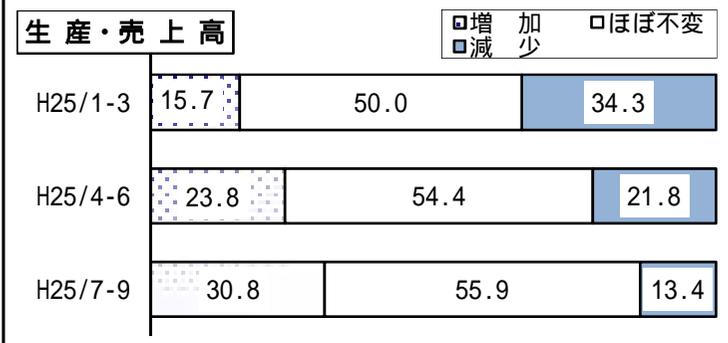
足もとのBSIは5.1とマイナス局面にあるが、先行きは改善傾向にある。

【参考 - 個別判断 企業規模別】

大企業 自社業況 個別判断



中小企業 自社業況 個別判断



< 生産・売上高 >
 中小企業の足もとのBSIはマイナス、先行きはプラスに転じる見通し。大企業は足もと・先行きともプラス。

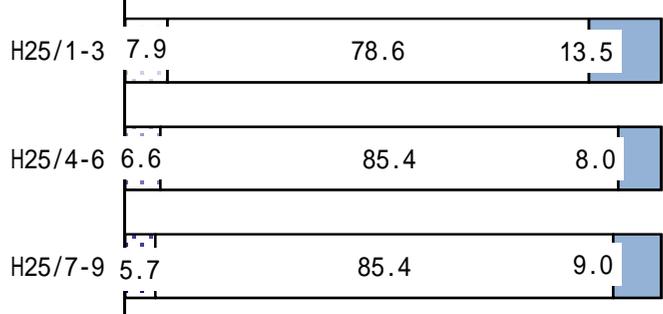
< 経常利益 >
 足もとのBSIは中小企業・大企業ともにマイナス。先行きは改善期待が高まり、7～9月期はプラス転換を見込む。

< 製・商品の価格 >
 中小企業は足もと「上昇」と「下降」が拮抗。中小企業・大企業ともに先行きはプラスに転じ、価格上昇期待が見られる。

大企業 自社業況 個別判断

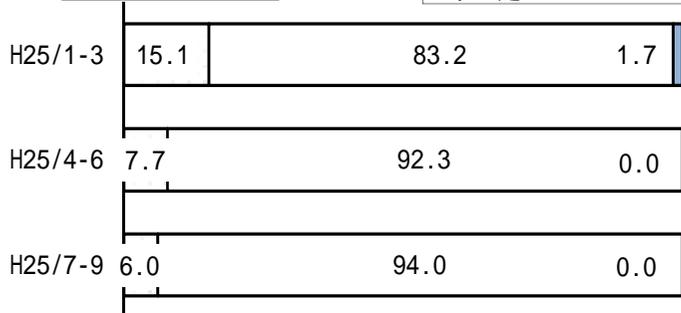
雇用判断

□過剰 □ほぼ適正
■不足



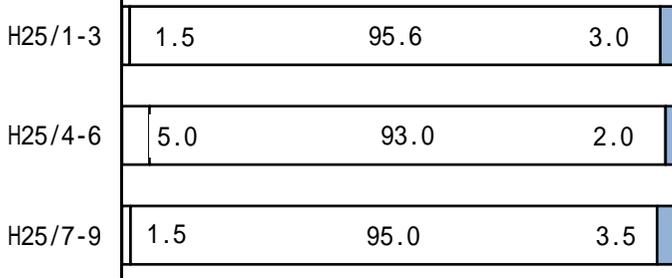
製・商品在庫

□過剰 □ほぼ適正
■不足



資金繰り

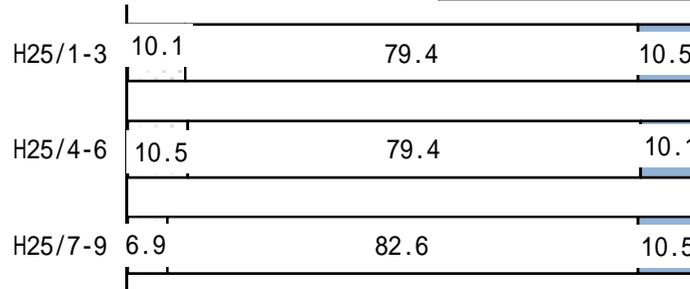
□改善 □ほぼ不変
■悪化



中小企業 自社業況 個別判断

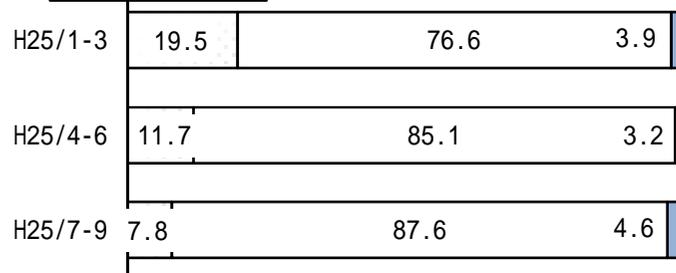
雇用判断

□過剰 □ほぼ適正
■不足



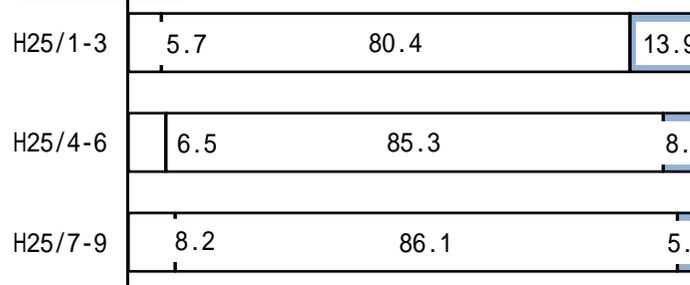
製・商品在庫

□過剰 □ほぼ適正
■不足



資金繰り

□改善 □ほぼ不変
■悪化



< 雇用判断 >

足もとは、中小企業・大企業ともに若干の不足傾向が見られる。

< 製・商品在庫 >

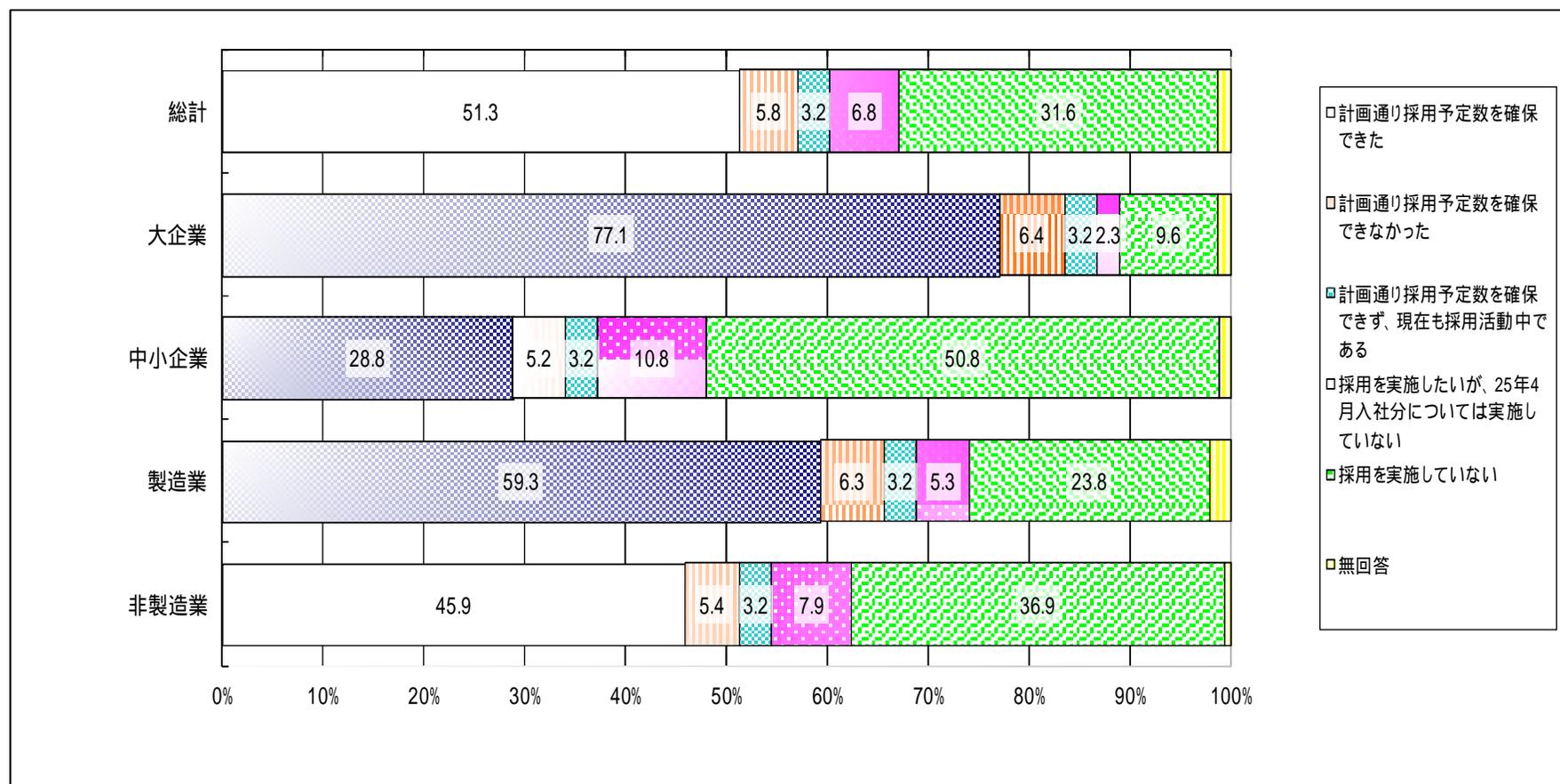
足もとは中小企業・大企業ともに2ケタのプラスと過剰。しかし先行きは減少傾向を示す。

< 資金繰り >

中小企業・大企業ともに足もとはマイナスとなるものの、4～6月期は中小企業のマイナス幅は縮小、大企業はプラス転換へ。

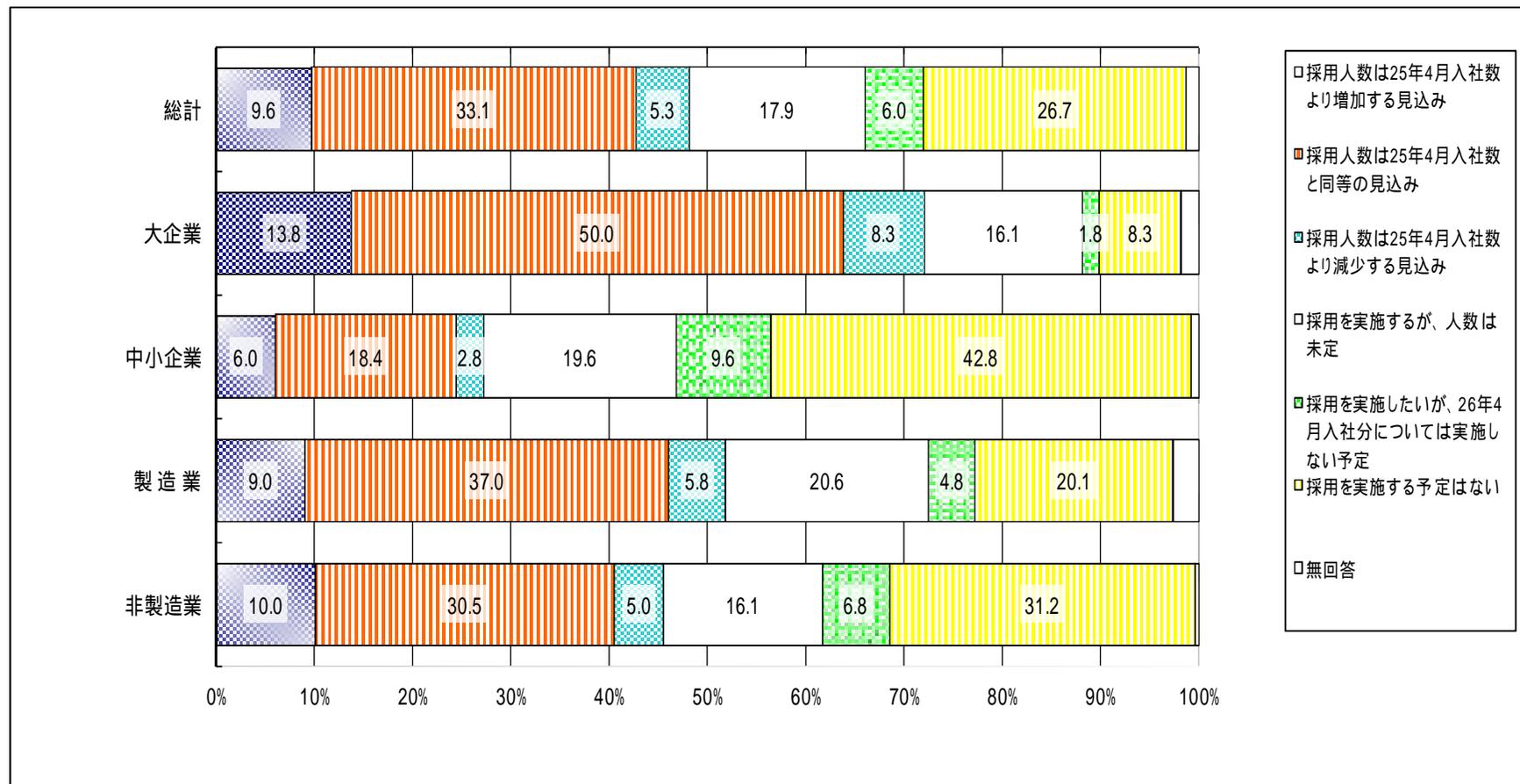
4. 新卒採用について

(1) 平成25年4月入社の新卒採用実績について(単数回答)



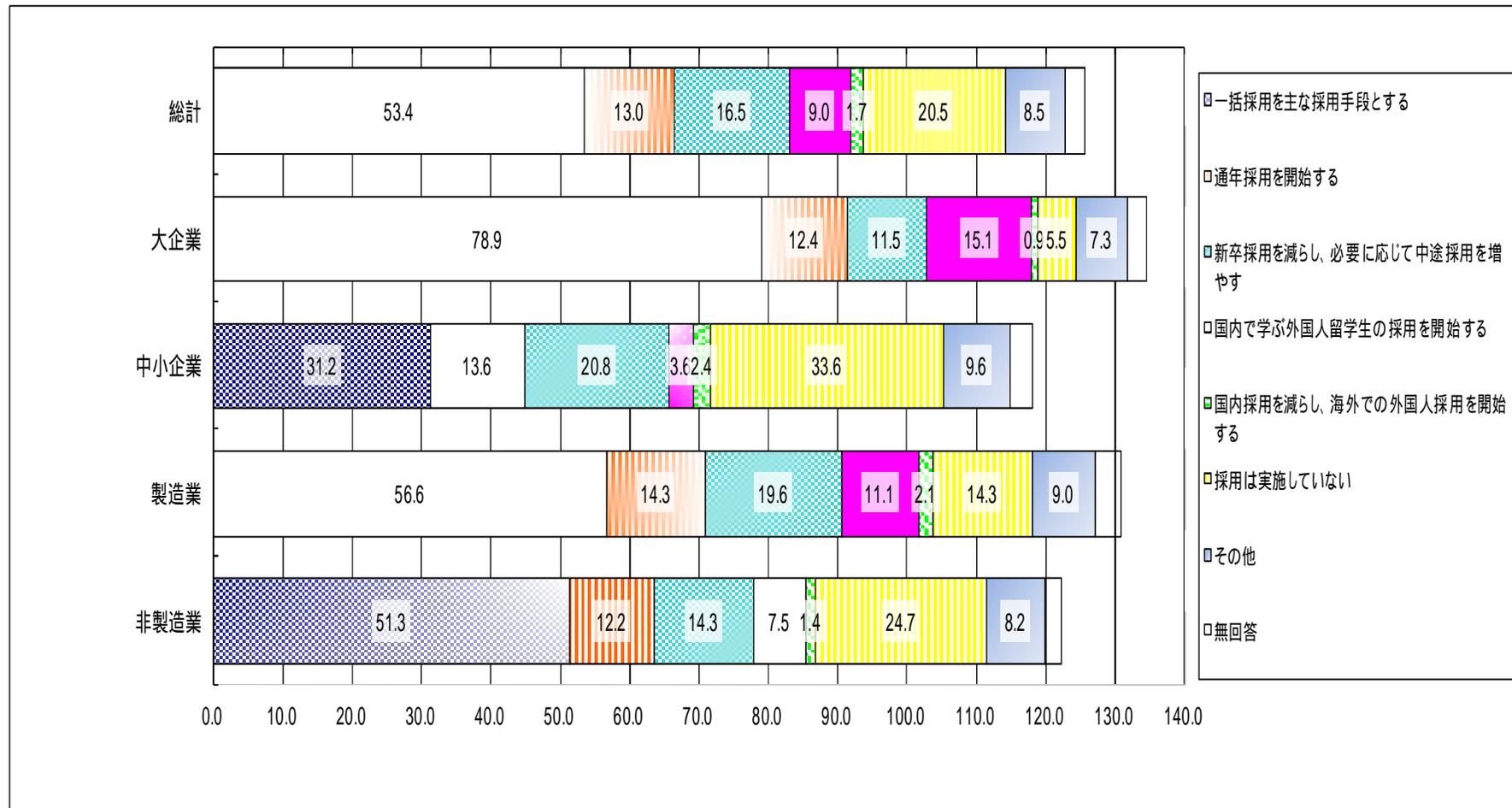
- ・「計画通り採用予定数を確保できた」(51.3%)が最多。
- ・中小企業は、約1割が「採用を実施したいが、25年4月入社分については実施していない」と回答。

(2) 平成26年4月入社の採用計画について



- ・「採用人数は、25年4月入社数と同等の見込み」（33.1%）が最多。
- ・大企業では「25年4月入社数と同等の見込み」（50.0%）が最多だが、中小企業は「採用を実施するが人数は未定」（19.6%）と「同等の見込み」（18.4%）が拮抗する。

(3) 今後の新卒採用に関する方針



- ・「一括採用を主な採用手段とする」（53.4%）が最多。次いで、「新卒採用を減らし必要に応じて中途採用を増やす」（16.5%）、「通年採用を実施する」（13.0%）が続く。
- ・規模別に見ると、「一括採用」に次いで、大企業では「国内で学ぶ外国人留学生の採用を開始する」（15.1%）が2番目に多いが、中小企業では「新卒採用を減らし必要に応じて中途採用を増やす」（20.8%）が続く。

【参考 - BSI値の推移】

回数・時期	国内景気			自社業況			
	足元	3ヵ月後	6ヵ月後	足元	3ヵ月後	6ヵ月後	
1	2001年3月	56.4	33.1	9.8	21.6	17.7	0.9
2	2001年6月	44.2	23.5	6.7	31.7	6.8	9.5
3	2001年9月	78.6	58.1	37.7	44.8	27.9	21.7
4	2001年12月	69.8	59.3	26.8	38.4	30.9	17.4
5	2002年3月	66.1	33.7	11.5	37.6	20.1	3.2
6	2002年6月	7.0	6.4	31.0	19.9	2.5	15.6
7	2002年9月	19.0	4.4	2.0	15.8	5.5	3.1
8	2002年12月	39.0	40.5	16.1	7.9	18.8	10.8
9	2003年3月	40.3	26.7	12.8	16.9	19.1	7.2
10	2003年6月	36.0	26.1	5.0	25.1	10.9	4.3
11	2003年9月	6.1	20.8	16.8	5.2	13.2	7.8
12	2003年12月	27.1	16.6	27.5	12.3	3.5	6.6
13	2004年3月	30.7	37.0	32.9	5.5	8.1	13.0
14	2004年6月	40.5	34.6	35.6	6.8	18.3	22.3
15	2004年9月	35.0	29.3	15.0	14.0	15.2	5.7
16	2004年12月	13.5	9.6	4.5	7.1	4.8	4.6
17	2005年3月	10.0	5.5	15.7	3.0	3.2	16.5
18	2005年6月	9.2	12.9	28.2	1.1	11.0	19.9
19	2005年9月	24.0	27.6	23.0	4.1	18.8	16.8
20	2005年12月	47.5	38.8	36.3	16.9	20.5	13.9
21	2006年3月	40.7	46.5	39.8	14.3	15.4	19.9
22	2006年6月	41.1	39.0	30.6	7.4	20.0	25.1
23	2006年9月	35.3	34.5	18.7	8.4	22.7	14.4
24	2006年12月	30.2	15.5	15.6	20.7	13.0	12.8
25	2007年3月	20.4	29.7	24.9	7.3	16.0	20.9
26	2007年6月	15.1	19.8	22.0	0.2	15.5	24.7
27	2007年9月	3.6	13.5	10.2	1.2	11.6	12.1
28	2007年12月	15.9	22.1	10.1	3.7	2.0	0.2
29	2008年3月	43.9	35.1	18.8	15.6	12.9	2.6
30	2008年6月	48.6	44.6	32.4	22.6	17.5	6.9
31	2008年9月	66.2	55.8	42.2	27.9	17.7	17.4
32	2008年12月	83.1	78.4	56.9	41.7	42.4	33.4
33	2009年3月	87.9	65.3	39.2	63.9	52.6	36.2
34	2009年6月	42.2	19.6	8.5	46.5	23.0	1.3
35	2009年9月	16.6	5.0	1.7	24.4	11.1	10.2
36	2009年12月	16.8	23.6	5.4	14.2	23.6	16.8
37	2010年3月	9.9	1.4	8.6	19.3	12.2	0.2
38	2010年6月	4.5	5.3	18.7	6.5	0.2	12.8
39	2010年9月	17.1	20.2	17.0	10.6	6.3	10.0
40	2010年12月	18.5	15.9	3.7	9.9	14.4	0.2
41	2011年3月	5.3	6.9	9.8	1.6	1.4	5.0
42	2011年6月	57.1	13.0	17.0	24.4	9.2	10.7
43	2011年9月	9.5	2.0	5.7	8.0	8.0	2.1
44	2011年12月	26.4	17.2	0.0	9.4	10.4	2.1
45	2012年3月	8.5	14.3	17.2	12.2	1.0	10.1
46	2012年6月	4.9	4.7	17.4	8.1	5.2	19.0
47	2012年9月	9.9	3.2	2.8	5.5	11.7	1.1
48	2012年12月	40.5	20.0	3.0	8.4	12.3	4.6
49	2013年3月	22.0	37.7	38.0	1.7	7.9	24.5

国内景気判断と自社業況判断の推移

